

# 歴史遺産研究

Bulletin of the Department of Historic Heritage,  
Tohoku University of Art and Design

## 第16号

### 目次

#### 論文

寛永5年徳川期大坂城普請にかかる  
大名丁場割絵図記載内容の再検討

北野 博司 KITANO Hiroshi (1)

北海道伊達市有珠モシリ遺跡発掘調査概要報告2

青野 友哉 AONO Tomoya

永谷 幸人 NAGAYA Yukihiro

三谷 智広 MITANI Tomohiro (11)

続縄文期における墓坑内出土の  
石鏃の形態差と規格差の検討

鈴木 大翔 SUZUKI Hiroto (23)

#### 研究ノート

古文書と寺社・石碑にみる山形市蔵王上野の信仰

竹原 万雄 TAKEHARA Kazuo

芦野 七海 ASHINO Nanami

加藤 彩花 KATO Ayaka

土井愛夕美 DOI Ayumi (33)



TOHOKU UNIVERSITY  
OF ART & DESIGN

2022年

東北芸術工科大学

歴史遺産学科

東北芸術工科大学

歴史遺産研究

第16号 2022年

# 目次

Contents

---

## 論文

寛永5年徳川期大坂城普請にかかる  
大名丁場割絵図記載内容の再検討

北野 博司 KITANO Hiroshi ..... 1

---

北海道伊達市有珠モシリ遺跡発掘調査概要報告2

青野 友哉 AONO Tomoya

永谷 幸人 NAGAYA Yukihito

三谷 智広 MITANI Tomohiro ..... 11

---

続縄文期における墓坑内出土の  
石鏃の形態差と規格差の検討

鈴木 大翔 SUZUKI Hiroto ..... 23

---

## 研究ノート

古文書と寺社・石碑にみる山形市蔵王上野の信仰

竹原 万雄 TAKEHARA Kazuo

芦野 七海 ASHINO Nanami

加藤 彩花 KATO Ayaka

土井愛夕美 DOI Ayumi ..... 33

---

## 2020年度 歴史遺産学科 卒業論文

### 《考古学》

- 米山 田朗 クッキー状炭化物の製作方法と用途の研究  
鈴木 大翔 「副葬用石鏃」の出現 — 縄文晩期から統縄文期における石鏃の形態変化 —  
安達 瑛冬 山形県域の大形石棒からみた周辺地域との交流  
館石 侑歩 松島湾における縄文前期・中期の遺跡間関係 — 動物遺存体の分析を中心に —  
田仲 莉沙 縄文貝塚の貝種組成と遺跡立地の関連性 — 東京湾岸地域の縄文時代のオキアサリを中心に —

### 《考古学・文化財マネジメント》

- 齋藤 太一 山形県内に遺された伝世品からみる相良人形  
佐藤 祐美 明治期の上山城下町が描かれた『上山戸別図』にみる旧上山城下町の景観と産業  
鈴木 悠功 上山城下町武家地の変遷  
宮澤 貴大 重要伝統的建造物群保存地区における保存活用事業の実態 — 宮城県村田町伝建地区を事例に —

### 《歴史学》

- 後藤 彩佳 佐倉藩飛地領下における社会仕法の実情 — 出羽国村山郡村木沢村・上野村を事例に —  
小林 彩華 明治10年代の米沢における貸座敷営業  
吉田 脩道 近現代の山形県西村山郡河北町における契約講の役割

### 《民俗・人類学》

- 栗田 芽生 求められた女性像 — 大正～平成の婦人雑誌『主婦の友』を題材に —  
芝野 愛海 水商売に対するイメージとその実情 — 山形市のクラブを事例として —  
荒川 光 タトゥーは悪か  
吉岡美衣亜 若者から見たオタク像

### 《民俗・人類学》

- 野寄 夏穂 観光資源としてのアイヌ民族 — 白老地区を中心とした絵葉書事例から —  
大野 瑞穂 伝統の中で息づく潮流 — 新潟市白根仏壇店の事例から —  
大川 恭平 神道・仏教から見る修験道のあり方  
猪股 愛生 衣装道具から見る民俗芸能の継承のあり方 — 永井の大念仏剣舞を事例に —  
武田 大河 成人期の通過儀礼について — 山形県東根市の事例を中心に —  
川嶋 真央 現代におけるフォークロアの可能性 — コロナ禍での民俗学への挑戦を事例に —  
中野 周 参詣図・供養絵馬が何故西里地区に多いのか — 山形県河北町西里地区を事例に —  
須賀光太郎 動物の「命」と向き合うために

## 2020年度 芸術文化専攻歴史文化領域 修士論文

- 藤井脩太郎 『御修覆帳』からみる仙台藩の建造物修復の研究  
山本 亜季 習俗継承にまつわる問題への一考察 — 山形県村山地方の供養習俗「ムカサリ絵馬」を事例に —

## 東北芸術工科大学『歴史遺産研究』寄稿要項

1. 歴史遺産研究は東北芸術工科大学歴史遺産学科に関連する諸科学に関する論文・研究報告、調査報告等を掲載・発表することにより、学科教育と研究の発展に寄与するものである。
2. 歴史遺産研究に投稿することができる者は、以下の通りとする。1) 東北芸術工科大学の教職員(同客員、非常勤の教員を含む)、2) 東北芸術工科大学の名誉教授、3) その他、歴史遺産学科において適当と認めた者。
3. 原稿執筆における使用言語は日本語・英語を原則とする。
4. 寄稿する原稿には英文タイトルを添付する。
5. 原稿はA4判横書き、1頁2段組みで2,050字(25字×41行)とし、十分な余白を取る。(図、表、写真、図版などはそれぞれ別頁として準備する。さらにそれらのキャプションを別途準備する)。図版類の版下は1頁縦22cm×横14cmとする。
6. 原稿はパソコンで作成し、出力原稿2部(図表、写真等も含める)とCD等を添えて提出する。
7. 原稿の提出は11月末とする。
8. 原稿の提出は東北芸術工科大学歴史遺産学科とする。
9. 掲載した1原稿につき、別刷り50部までを無償とし、それ以上は筆者の負担とする。
10. 歴史遺産研究に掲載された論文等の著作権は、歴史遺産学科に帰属するものとする。

### 執筆者紹介

北野 博司(東北芸術工科大学芸術学部 教授)  
青野 友哉(東北芸術工科大学芸術学部 准教授)  
永谷 幸人(伊達市噴火湾文化研究所)  
三谷 智広(パレオ・ラボ)  
鈴木 大翔(東北芸術工科大学大学院芸術文化専攻歴史文化領域修士課程1年)  
竹原 万雄(東北芸術工科大学芸術学部 准教授)  
芦野 七海(東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科 3年)  
加藤 彩花(東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科 3年)  
土井愛夕美(東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科 3年)

東北芸術工科大学  
**歴史遺産研究** 第16号/2022

令和4年3月22日 発行

編集・発行 東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科

〒990-9530 山形市上桜田3-4-5

印刷 田宮印刷株式会社



TOHOKU UNIVERSITY  
OF ART & DESIGN

# Bulletin of the Department of Historic Heritage, Tohoku University of Art & Design

## Vol.16 2022

### *Table of Contents*

---

#### **Chief Articles**

Reliability of *Daimyo Chobawari-ezu* depicting  
the construction of Osaka Castle in 1628

**KITANO Hiroshi** (1)

Overview on Archaeological Excavation of the Usumoshiri site  
in Date City, Hokkaido, Vol.2

**AONO Tomoya**

**NAGAYA Yukihito**

**MITANI Tomohiro** (11)

Examination of Morphological Differences and Size Differences  
of Stone Arrow head Excavated from Grave pits in the Epi-Jomon Period

**SUZUKI Hiroto** (23)

#### **Research notes**

The Faith of Zao-uwano, Yamagata City Through Old  
Documents, Temples, Shrines and Stone Monuments

**TAKEHARA Kazuo**

**ASHINO Nanami**

**KATO Ayaka**

**DOI Ayumi** (33)